

科目名	歴史学概論	英文表記	Introduction to History	2017年3月25日			
科目コード	2017						
教員名: 下郡剛 技術職員名:						作成	
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科		4年	必	履修	2単位	講義	前期
科目目標	1前後の史実の連関を把握し、歴史を流れで理解できる。2現代の我々とは異なる思想・価値観を理解することで、多面的なものの見方や考え方ができるようにする。3現代と異なる形態の国家・社会・宗教等を学ぶことで、現代社会を相対的に把握できる能力を養う。Ⅲ—C						
総合評価	定期試験による評価(授業への取り組みを含むこともある)						
科目目標達成度	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
	###	① 資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高めるとともに、リアリティーある時代像の構築に努める。	正しく説明できるか定期試験で評価する。	理想的な到達レベル 定期試験の9割に到達している。	標準的な到達レベル 定期試験の7割に到達している。	最低限必要な到達レベル 定期試験の6割に到達している。	セルフチェック
		②					
		③					
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	〈本科科目目標〉(4) 広い視野と倫理観を備えた人材を育成する		
				◎			
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他の履修記録・発表・実技・成果物等	総合評価	セルフチェック
評価項目		100	0	0	0	100	
基礎的理解		100	0	0	0	100	
応用力(実践・専門・融合)						0	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0	
主体的・継続的学修意欲						0	
授業概要、方針、履修上の注意	資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高める。そ						
教科書・教材	教員が編集したプリント、プレゼン資料						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	ガイダンス	2	授業の方針・進め方等についての説明		
2	下総の子犬の話し—鎌倉	2	漢文読解能力未習得段階における史料の使用方法		
3	大化改新1	2	大化改新を国家史の視点から理解する		
4	大化改新2	2	大化改新を王権の継承の視点から理解する		
5	壬申の乱	2	壬申の乱を国家史・王権の継承の両視点から理解す		
6	律令国家の成立とその政務	2	律令国家成立に伴って編成される政務機構を知識		
7	天武天皇後の皇位継承	2	壬申の乱によって直系皇統としての地位を確立した		
8	聖武天皇後の皇位継承1	2	古代政治史のターニングポイントとなった聖武天皇期		
9	聖武天皇後の皇位継承2	2	聖武天皇期における皇位継承の異例について、藤原		
10	桓武天皇の登場	2	桓武天皇登場を語る『扶桑略記』の史料としての信		
11	聖武天皇後の皇位継承2	2	聖武天皇期における皇位継承の異例について、藤原		
12	桓武天皇の登場	2	桓武天皇登場を語る『扶桑略記』の史料としての信		
13	桓武天皇後の皇位継承1	2	聖武皇統の断絶により直系皇統が再度天武系から		
14	桓武天皇後の皇位継承2	2	新しい皇統の直系として桓武系が認識されるようにな		
15	前期授業内容のまとめ	2	前期授業内容のまとめ		
期末	期末試験	[2]			
16	荘園の成立	2	摂関政治・院政を理解する上で必要となる荘園制の		
17	摂関政治前史—藤原氏の	2	大化改新以降の藤原氏の台頭を流れて概観する		
18	摂関政治の成立	2	兼家の時に成立した摂関政治について歴史的意義を		
19	中世への胎動	2	摂関政治・院政双方の政治構造の差異を理解するこ		
20	院政前史—後三条天皇の政治	2	後三条天皇の登場により、摂関政治の終焉と院政への胎動を理解する		
21	院政の成立	2	皇位継承を通して院政の成立を理解する		
22	院政の展開	2	成立した院政がその後、どのように定着してゆくのかを理解する		
23	鎌倉幕府成立前史1	2	鎌倉幕府の成立の前提となった平氏政権の成立を理解する		
24	鎌倉幕府成立前史2	2	平成政権の展開を理解する		
25	鎌倉幕府の成立	2	鎌倉幕府の成立を皇位継承問題の視点から理解する		
26	鎌倉幕府の権力構造	2	下総の子犬の話を再度取り上げて、鎌倉幕府の権力構造を理解する		
27	資本主義・共産主義の形成と冷戦	2	資本主義と共産主義の形成、それに伴う冷戦構造の成立について理解し、4年次で開講する地域文化論に論点をつなげる前振りとする。		
28	前近代海上交通と大分磨	2	前近代における海上交通の意義を、地理的背景を踏		
29	前近代海上交通と大分磨	2	上記理解に基づき、論点を大分の磨崖仏に及ぼす。		
30	後期授業内容のまとめ	2	後期授業内容のまとめ		
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①				各2時間×30回	
②				各5時間×2回	
③					
<b>備考欄</b>					
<p>この科目はJABEE対応科目ではない。ゆえに日常的受講態度も評価対象とする。</p> <p>この科目の主たる関連科目は地理学概論(3年)、地域文化論(4年)、日琉交流史(専攻科1年)である。社会を歴史的に理解する上で必須の自然環境にも言及するので、地理学分野との関係性も意識して受講すること。この科目は主に前近代を扱う。近現代については、地理学概論(3年)、地域文化論(4年)にて扱うことになる。</p>					